

編集後記

第7回目の共通1次試験は、去る1月26日、27日の両日、各国公立大学及び産業医科大学の御協力のもとに、無事に終了することができました。

教育改革の重要課題の一つである共通1次試験を中心とした大学入試制度の改革について、臨時教育審議会は、6月に第1次答申を予定しています。また、国立大学協会においては共通1次試験の改善策並びに受験機会の複数化等大学入試制度の改革案が進められています。

本号では、高等学校教育と大学入試改善に御尽力された羽部英二東京都立両国高等学校長に「高校教育と大学入試」について、御執筆いただき、巻頭に掲載することができました。

事例紹介では、推薦入学、帰国子女及び社会人のための特別選抜を実施している北見工業大学（工学部）、横浜市立大学（商学部）及び立教大学（法学部）にそれぞれの事例を紹介していただきました。

研究ノートでは、前号に引き続き、「解答分析（政治・経済）、（世界史）、（地理A・地理B）」を御紹介願いました。また、当センターの野村教授から「共通第1次学力試験における外国語聴解力試験に関する調査研究」、清水教授から「国公立大学入学志願者に関するいわゆる輪切りについて」をそれぞれ公表いたしました。

本号の刊行に当たり、御多忙の中を寄稿いただきました、棟、松井、吉川、所、野田、岩見、小林の諸先生に厚くお礼申し上げます。